

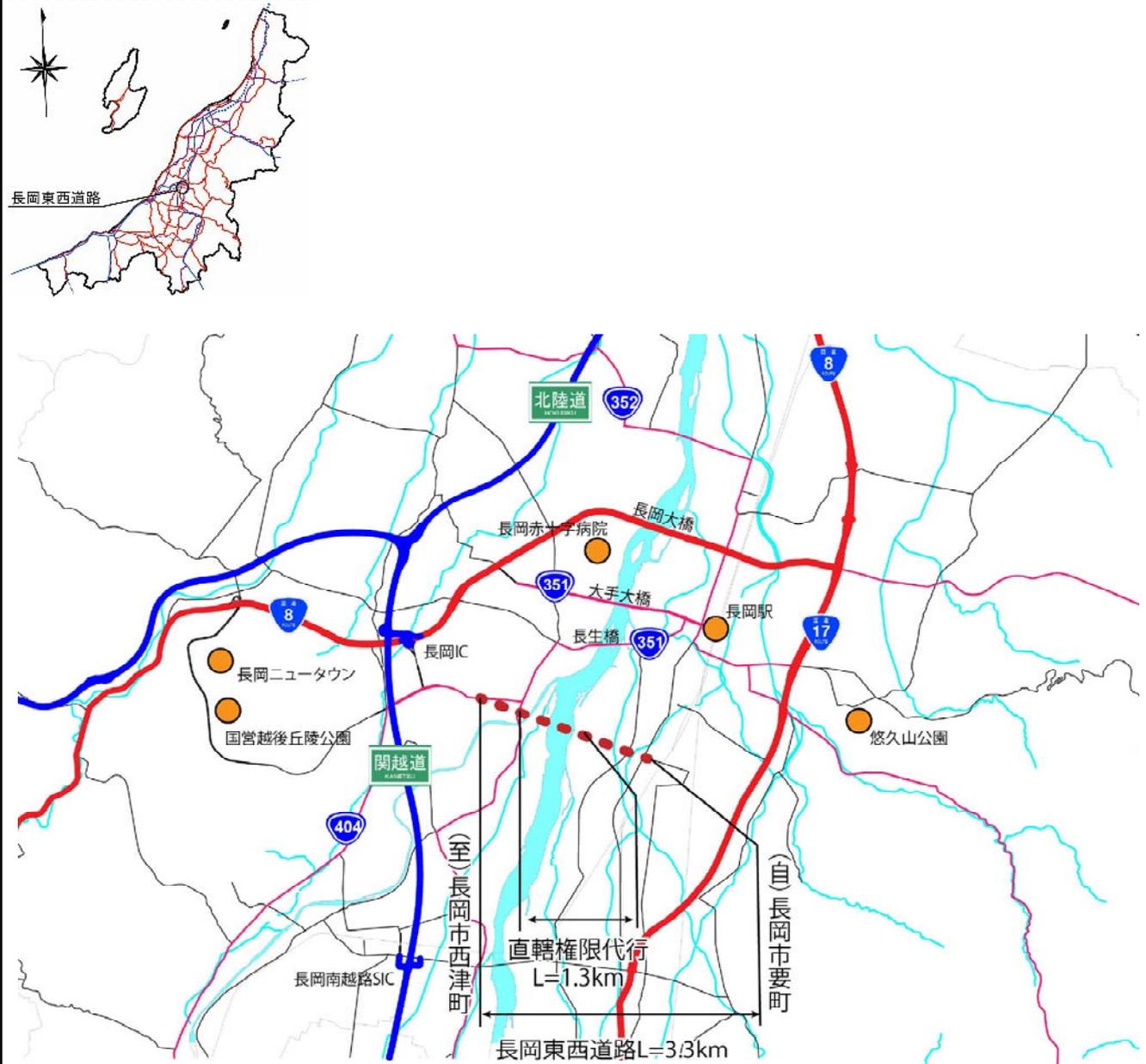
再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 地域高規格道路 長岡東西道路 一般国道404号 <small>ながおかとうざい</small> 長岡東西道路 <small>ながおか しかなめちよう</small>	事業 区分 一般国道	事業 主体 新潟県
起終点 自：新潟県長岡市要町 <small>ながおか しにしづまち</small> 至：新潟県長岡市西津町		延長 3.3km
事業概要 一般国道404号は、新潟県長岡市を起点とし新潟県上越市に至る幹線道路であり、本事業は、信濃川で分断された長岡市川東地区と川西地区を新たに結ぶ路線である。 本事業区間と並行する信濃川橋梁部では、慢性的な交通渋滞の発生が課題となっている。 長岡東西道路は、交通渋滞の緩和や、市町村合併により誕生した新長岡市の連携強化を目的とした約3km（全線約10kmのうち）の暫定2車線整備事業である。		
H10年度事業化	H10年度都市計画決定	平成12年度用地着手
平成15年度工事着手		
全体事業費	120億円 <small>（新潟県分）</small>	事業進捗率 81% <small>（新潟県分）</small>
		供用済延長 0km
計画交通量	12,100～16,300台/日	
費用対効果分析結果 （※直轄を含めた全体区工区3.3kmで算出）	B/C： （事業全体） 1.2 （残事業） 6.7	総費用： <small>（残事業）/（事業全体）</small> 40/232 億円 事業費：37/229億円 維持管理費：3 / 3 億円
		総便益： <small>（残事業）/（事業全体）</small> 269/269億円 走行時間短縮便益：206/206億円 走行経費減少便益：48/48億円 交通事故減少便益：15/15億円
		基準年： 平成24年
感度分析の結果 <small>（事業全体）</small> 交通量：B/C= 1.1～1.4（交通量 ±10%） <small>（残事業）</small> 交通量：B/C= 6.3～7.9（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 1.1～1.2（事業費 ±10%） 事業費：B/C= 6.2～7.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 1.1～1.2（事業期間±20%） 事業期間：B/C= 6.6～6.8（事業期間±20%）		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保・・・並行する長生橋等の旅行速度向上 ・国土・地域ネットワークの構築・・・日常活動圏中心都市（長岡市）へのアクセス向上 ・個性ある地域の形成・・・主要な観光地へのアクセス向上 ・安全で安心できるくらしの確保・・・第三次医療施設（長岡赤十字病院）へのアクセス向上		
関係する地方公共団体等の意見 「長岡東西道路整備促進期成同盟会」が組織されており、早期整備・供用の強い要望がある。		
事業評価監視委員会の意見 対応方針（案）のとおり、事業の「継続」は妥当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年（長岡市、中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町）、平成18年（栃尾市、与板町、和島村、寺泊町）、平成22年（川口町）に周辺市町村との合併により、人口28万3千人の新長岡市が誕生。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 市道を利用した暫定供用（平成25年）を予定しており、長岡東西道路の早期供用に向けた事業の進捗を図る。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 信濃川右岸の付替市道の地元調整において法線変更が必要となり、道路修正設計および用地買収を行ったため、事業進捗が遅れた。		
施設の構造や工法の変更等 コスト縮減として、他工事からの土砂を利用し、資源の有効利用を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。		

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。